

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

～メールマガジン第23号（平成28年5月25日発行）～

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◆ I N D E X ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】トピックス

- ・協働プロジェクトのアイデアを募集します

【2】 イベントピックアップ

- ・【札幌市】北海道大学公開講座「北海道の地震と防災」
- ・【札幌市】「住宅の耐震セミナー」
- ・【名寄市】「天塩川水系天塩川総合水防演習」・「防災キッズパーク」

【3】 日本全国！ぼうさいの取組紹介！

- ・【千葉県】NPO 法人パートナーシップながれやま、流山子育てプロジェクト【防災・減災ノート】

【4】 お知らせ

- ・北海道シェイクアウト2016の参加者を募集しています！

【5】 ネットワークへようこそ！

- ・5月25日（水）現在90（30個人・60団体）
- ・横顔紹介：（公財）日本公衆電話会 北海道統括支部

【1】 トピックス

■協働プロジェクトのアイデアを募集します

事務局では、北海道の防災教育を今後も推進していくため、ネットワーク構成員の皆様が北海道の防災について考えていること、思っていることをネットワーク全体で共有し、連携を活性化させることが大切と考えています。

このため皆様に「協働プロジェクトとしてこんなことをやってみたい」というアイデアを募集します。

【募集要領】

構想の大小は問いません。

協働プロジェクトのアイデアについて、タイトルと概要を簡潔に記述して、電子メール

で「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局」（北海道総務部危機対策局危機対策課）までお送り下さい。

メールアドレスは、somu.bosai22@pref.hokkaido.lg.jp です。

【募集〆切】

6 月 15 日（水）

【アイデア共有について】

応募していただいたアイデアは事務局でとりまとめた上で、構成員の皆様にメール等でお知らせし、アイデアの共有化を図ります。

そして、それぞれのアイデアを連携して生かせるか、ネットワーク構成員の皆様それぞれでご検討いただくとともに、事務局でも実施方法を検討していきます。

皆様のアイデアを多数お寄せいただくよう、よろしくお願いいたします。

【2】イベントピックアップ

6 月の防災イベントを紹介！

■6 月 11 日（土）・18 日（土） 北海道大学公開講座「北海道の地震と防災」

6 月 11 日（土）・18 日（土）に北海道大学理学部 3 号館（札幌市北区北 10 条西 8 丁目）において、平成 28 年度公開講座「北海道の地震と防災」が開催されます。

この講座では、「北海道周辺に発生する地震」や「避難所運営から考える地域の備え」などをテーマに、北海道で起こりうる地震災害・災害情報の基礎的な知識に加え、家庭における実践的な防災の取り組みや災害対応について、講義・演習形式で様々な角度から学ぶことができます。

事前予約制となりますので、申込み・お問い合わせにつきましては、下記のホームページをご覧ください。

<https://www.hokudai.ac.jp/pr/study/open-lecture/h28/4.html>

■6 月 16 日（木） 北海道主催「住宅の耐震セミナー」

6 月 16 日（木）に札幌市教育文化会館（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）において、「住宅の耐震セミナー」が開催されます。

このセミナーは、道内においても、いつどこで発生してもおかしくない地震に備え、このたびの熊本地震の教訓を踏まえて、大規模な地震による住宅の倒壊などから生命や財産を守るため、住宅の耐震化の必要性や効果について考えていただく機会として、一般道民の方を対象に開催されます。

「札幌市における地震被害想定」や「防災への備えと耐震改修工法」など、興味深い内容となっています。興味のある方は、ぜひお申し込みください。

申込方法や詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/anzensuisin/28seminar.htm>

■6月25日（土） 旭川開発建設部主催「天塩川水系天塩川総合水防演習」

6月25日（土）に名寄大橋上流左岸において、旭川開発建設部主催で警察、消防、自衛隊などの関係機関が連携した「天塩川水系天塩川総合水防演習」が実施されます。

この演習は、出水に備え、防災関係機関の密接な連携と水防技術の向上、並びに水防意識の高揚を図るとともに、水防に対する地域住民の皆様の理解と協力を求めることを目的として、昭和59年から実施されています。天塩川流域での演習は、今回で4回目となります。

訓練のほかにも自衛隊・消防などの車両展示コーナーがあるほか、体験型のアトラクションとして降雨体験装置や流速体験装置で避難の困難さの体験や、高齢者疑似体験、AED講習なども受けることができます。また、管内市町村による地域PRコーナーでは、特産物の販売も行われます。

親子連れの方には、「防災キッズパーク（旭川地方気象台とNHK旭川放送局の主催）」も同時開催されています。防災啓発グッズの展示をはじめ、お天気キャスターや災害報道のアナウンサー体験などがあります。

一般公開となっていますので、興味のある方は、ぜひ足を運んでみてください。

旭川開発建設部 Web 版広報誌（2016年3月発行 第4号）

http://www.as.hkd.mlit.go.jp/as_news/pdf/as_news04.pdf

■その他のイベント情報はこちらから

・ネットワークイベントカレンダー（平成28年4月～平成29年3月）

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

【3】日本全国！ぼうさいの取組紹介！

日本全国に視点を広げ、特色のある防災の取組を紹介します！

皆さんが行う防災の取組の参考となれば幸いです。

今回は、千葉県の特徴ある取組を紹介します。

【千葉県】NPO 法人パートナーシップながれやま、流山子育てプロジェクト【防災・減災ノート】

「防災・減災ノート」は、子育て中の母親向けに災害対応のノウハウが書かれたハンドブックです。千葉県流山市で男女共同参画の講座を受けた母親達が1年半かけて情報を集め、視察や見学を重ねながら制作しました。

このノートには、流山の地形を踏まえた、地震避難時のフローチャートをはじめ、備蓄リストや家庭における災害時の危険箇所チェックリストなどがまとめられています。

避難所に持って行けるコンパクトなノートで、親戚や学校の連絡先などを書き込みできるようになっています。

また、「防災・減災ノート」を制作するだけにとどまらず、このノートを活用した防災キャラバン（出前講座）を実施し、地域の自治会等を回ることによって高齢者の方にも活用してもらい、防災減災知識の普及啓発に当たっています。

このほか、英語・中国語や、平易な日本語を用いた、多言語版の防災ガイドブックも制作しているそうです。

いずれも購入することができますので、興味のある方は、下記のホームページをご覧ください。

<http://psnagareyama.info/>

【4】お知らせ

■北海道シェイクアウト2016の参加者を募集しています！

シェイクアウトとは、2008年に米国カリフォルニア州で始まった、地震を想定して参加者が一斉に行動するという形の訓練です。参加者は同じ日時にそれぞれの場所で、1分間「Drop（まず低く）、Cover（頭を守り）、Hold on（動かない）」の安全確保行動を行います。

去年は、全国で約527万人、北海道で約13万人が参加しました。

北海道シェイクアウトは今年も、9月1日（木）午前10時00分に実施します。

職場や学校、自宅など普段の暮らしの中で実施できる簡単で実践的な訓練となりますので、ぜひ参加しませんか。

道では現在、参加者を募集していますので、参加いただける方は登録をお願いします。

参加登録など、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/shakeout/2016.htm>

【5】ネットワークへようこそ！

5月25日（水）現在のネットワーク構成員数は、90（30個人・60団体）です。

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

このコーナーでは、参画いただいている皆様の横顔を順次、ご紹介していきます。

【公益財団法人 日本公衆電話会 北海道統括支部】

(公財)日本公衆電話会北海道統括支部では、地域社会の安全と安心に関する情報提供と啓発活動、地域環境整備などの諸活動を通じて、地域社会生活の充実に貢献しています。

主な事業としては、全道の赤十字病院などの関係団体と連携し、各種イベントで緊急時における公衆電話のかけ方講習や災害に強い公衆電話設置の働きかけをはじめ、防災対策では日ごろの備えの啓発活動や自治体主催の防災演習にも参加しています。

また、小学生4年生から6年生を対象とした、こども手帳「ぼくも、わたしも社会の一員」を発行し、27年度末で道内1,007校に累計74,000冊を寄贈しています。こども手帳は、北海道統括支部が企画・制作し、その後、全国的な事業として広がり、これまでに全国7,620校に計870,000冊が寄贈されました。

こども手帳には、公衆電話での緊急通報のかけ方やインターネット・携帯電話の正しい使い方をはじめ、災害時に身を守る行動などについて、イラストを用いてわかりやすく書かれています。

このほか、「災害用伝言ダイヤル171」の周知活動などにも取り組んでいます。

【編集後記】

札幌市内ではライラックの花が見ごろです。

フランス語で「リラ」と呼ばれるこの花が見ごろとなる時期には、例年コートが欲しくなるようなひんやりとした日が続くことから、この寒さを「リラ冷え」と呼ぶようになりました。

しかし、今年は5月19日から道内で5日連続真夏日を記録するなど、この時期としては異例の暑さに見舞われています。2014年には6月初めに音更町で37.8度を記録するなど、近年リラが咲き乱れる5月後半から6月前半にかけて厳しい暑さとなることが増えているようです。

内陸の活断層が引き起こすいわゆる直下型地震は、影響が一部地域にとどまる例が多いのですが、先月発生した熊本地震では震度7を2回も記録し、距離の離れた阿蘇地方や大分県の地震を誘発するなど、これまでの常識を覆す事態と報道されました。

経験則を過信せず、常に新しい情報を取り入れながら必要な備えの中身を見直すことが大切と、暑さの中で揺れるライラックの花に教えられたような気がしました。(博)

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局
(北海道総務部危機対策局危機対策課)

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>